

令和7年8月8日

関係者各位

かがわ高次脳機能障害支援センター  
センター長 河井 信行  
(公印省略)

## 令和7年度 高次脳機能障害 一般講演会について

立秋の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、標記の講演会を開催することとなりました。つきましては、ご多忙中誠に恐縮ではございますが、貴機関のご担当者ご参加につきまして、ご配慮いただきますようお願い申し上げます。

### 記

実施日 令和7年10月13日（月・祝）9：30～12：30

場 所 かがわ総合リハビリテーション福祉センター2階研修室  
(高松市田村町1114)

定 員 会場参加：80名程度

目 的 高次脳機能障害者とその支援者による体験談や支援について講話  
いただき、高次脳機能障害への理解を深め支援に活かしてもらう。

内 容 ①当事者の体験談発表 県内の当事者、当事者家族、支援者  
②「当事者にとっての易怒性（情動の脱抑制）とはどのようなものなのか？」 文筆業・当事者 鈴木大介氏  
③「香川県高次脳機能障害支援センターの取り組み紹介」  
かがわ高次脳機能障害支援センター 支援コーディネーター

参加申込 チラシの二次元バーコードまたは、お電話にてお申込みください

申込締切 令和7年9月30日（火）

【連絡先】 かがわ高次脳機能障害支援センター  
(高松市田村町1114番地)

TEL:087-883-8200 担当：松村・本田

以上

当事者・家族・支援者 皆で易怒性への理解を深めてみませんか？

香川県高次脳機能障害支援普及事業

香川県高次脳機能障害一般講演会

参加無料...  
会場 80名

## 高次脳機能障害者と家族・支援者が語る 情動の背景と付き合い方

当事者 鈴木 大介 氏 (文筆業・ルポライター)

1973年千葉県生まれ。子どもや女性、若者の貧困問題をテーマにした取材活動をし『最貧困女子』(幻冬舎)、『ギャングース(漫画原作・映画化)』(講談社)、『老人喰い』(ちくま新書・TBS系列にてドラマ化)などを代表作とするルポライターだったが、2015年に脳梗塞を発症して高次脳機能障害当事者に。その後は高次脳機能障害者としての自身取材した闘病記「脳が壊れた」「脳は回復する」(いずれも新潮社)や夫婦での障害受容を描いた「されど愛しきお妻様」(講談社)などを出版。2020年、援助職向けに書き下ろした「『脳コワ』さん支援ガイド」(医学書院・シリーズケアをひらく)にて日本医学ジャーナリスト協会賞大賞受賞。近刊に『ネット右翼になった父』(講談社現代新書・新書大賞2024・5位)『貧困と脳 働かないのではなく働けない』(幻冬舎新書)など。



体験談発表 (当事者・家族・支援者)

当事者にとっての易怒性 (情動の脱抑制) とは  
どのようなものか？ (鈴木大介氏)

かがわ高次脳機能障害支援センターの取組み紹介  
(かがわ高次脳機能障害支援センター支援コーディネーター)

10/13 月・祝  
9:30 ~ 12:30

【会場】 かがわ総合リハビリテーション  
福祉センター 2階研修室  
(高松市田村町1114番地)

【申込方法】 QRコードより申込  
QRコード申込困難な場合は  
右記へお電話ください 087-883-8200

【申込締切】 9月30日(火)

